

2007 IEEE Student Branch Leadership Training Workshop 報告書

東京電機大学Student Branch 芝崎友則、松本良平

開催日時：2007年10月20日（土）10:30～20:00 会議

開催場所：京都大学 吉田キャンパス（工学部3号館(電気系) 電気総合館 3F 中講義室）

参加人数：学生36名（東京電機大学からは芝崎友則、松本良平が参加）

Counselorの先生8名程度

参加ブランチ：16大学

（北海道大学、香川大学、慶應義塾大学、熊本大学、京都大学、明治大学、武蔵工業大学、名古屋大学、奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学、立命館大学、東北大学、東京電機大学、東京工業大学、山口大学、横浜国立大学）



東京電機大学ブランチフラッグ

<会議>

司会（日向：京都大学）

1. 開会の挨拶（田口先生：武蔵工業大学）

2. 自己紹介及び各ブランチの活動報告（4～5分程度）

各ブランチの参加者が自己紹介及び活動報告を行った。

紹介及び報告順は以下の通り。

- 1.北海道大学、2.香川大学、3.慶應義塾大学、4.熊本大学、5.京都大学、6.明治大学、7.武蔵工業大学、8.名古屋大学、9.奈良先端科学技術大学院大学、10.大阪大学、11.立命館大学、12.東北大学、13.東京電機大学、14.東京工業大学、15.山口大学、16.横浜国立大学



1.北海道大学



2.香川大学



3.慶應義塾大学



4.熊本大学



5.京都大学



6.明治大学



7.武蔵工業大学



8.名古屋大学



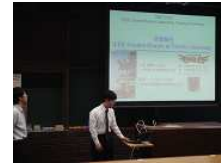
9.奈良先端科学技術大学院大学



10. 大阪大学



11. 立命館大学



12. 東北大学



13. 東京電機大学



14. 東京工業大学



15. 山口大学



16. 横浜国立大学

各地方の名産物についての説明や各大学の紹介と活動報告があった。各大学では、以下のことを行っていた。

- | ウェブサイト（ホームページ）の作成・更新
- | 勧誘のビラの配布
- | 国内学会や国際学会の参加
- | 英会話のレッスンの開催
- | 論文投稿
- | 教員を通じた入会のすすめ
- | **Student Branch (SB)** 関西セクション交流会への参加
- | 勧誘ポスターの作成・掲示
- | **IEEE**会員での飲み会
- | 工場見学
- | 研究発表
- | 招待講演
- | **2006 IEEE Student Branch Leadership Training Workshop**に参加
- | 英語プレゼンテーション大会
- | 留学生の相互の文化についての交流会
- | セミナー（ポスターセッション・懇親会）の主催
- | **IEEE**ボストンセクション交流会
- | **Hiroshima Student Symposium**に参加
- | 表彰企画への協力

など

各大学の活動を知り、今後の我々学生ブランチの活動にとっても良い参考となった。

各大学の問題として多かったのは、会員数を集めることであった。やはり、**IEEE**、**SB**、学会会員になるメリットについて知ってもらう工夫をさらに勤めて行わなければならない。そのためには、勧誘ポスターの作成、勧誘の呼びかけ、**IEEE**会員だけのイベントの主催、学会表彰などを積極的に行う必要がある。

次に**Counselor**の先生方が自己紹介を行った。



森江先生（九州工業大学）



尾上先生（大阪大学）



小野寺先生（京都大学）



西原先生（東京工業大学）

3.講演（尾上先生：大阪大学、西原先生：東京工業大学）

現在のIEEEの組織、会員数や学生会員の数、IEEEに入会した際のメリット、コンテンツなどを紹介した。また、学生支部を運営していく中でのアドバイスや運営方法、議長、副議長、秘書、会計などの仕事の内容、IEEEの論文コンテスト、ランチ運営のための資源、IEEEに提出すべき報告書などの説明を受けた。

4.学生企画「プロジェクトを通じた技術交流や意見交換」

企画者：IEEE 京都大学 学生支部 日向文彦

プロジェクトの内容：五目並べアルゴリズムの実装

=== 仕様概要 ===

- * 「五目並べサーバ」からの入力には盤面にある白黒それぞれの石の位置（座標）情報
- * 置きたい石の位置（座標）情報を「五目並べサーバ」に送信
- * 解答時間は1手につき1秒以内（遅れた場合はサーバがランダムに置く）

ここで「五目並べサーバ」とは、五目並べの盤面情報の保持、勝敗とノーゲームの判定、ルールの判定などをするプログラムです。クライアントはサーバから渡される盤面情報を基に、次に置くべき石の位置を決定し、サーバに送信します。また、五目並べサーバのプログラム及びクライアント側のサンプルコードはこちらで用意しておきます（追加実装しなくても対戦はできる状態）ので、クライアント側のサンプルコードの

=== 五目並べのルール ===

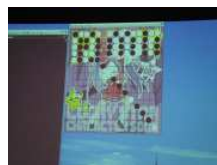
- * 2人のプレイヤーが基盤の上に黒、白の石を1つずつ交互に置く
- * 置く場所は自由
- * いったん置いた石は除かれない
- * 先に自らの色の石を5個直線（縦、横、若しくは45度の斜め）に並べた方が勝ち
- * 「三三」は禁止



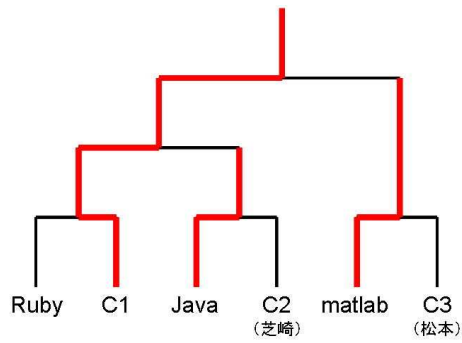
説明の様子

参加者のプログラミング経験からC1（C言語）、C2（C言語）、C3（C言語）、Java、Ruby、matlabの6チームに分かれた。

最初のプログラムでは左上から右に順に並べていくものであったので、「どこにどう置いたら、相手をどう防いだら勝てるのか」とチームごとにプログラムの改良を検討した。最後には、我々も大学で習ったプログラム言語を復習して望んだが、プログラムを理解するのに時間がかかり、五目並べの置き方についての考えを述べるのがメインになった。それを他の大学のプロ



学生企画の様子



トーナメント表と結果

5.閉会の挨拶（森江先生：九州工業大学）

6. 懇親会

オードブル、鮪、ビール、ジュースなどが出され、会食した。他の大学の方々とは、SBの活動や今後のこと、他大学の環境のこと、自分の研究のこと、今日のプログラムなどについて話しあった。懇親会の途中、明治大学のランチフラッグの授与が行われた。最後には、全員で記念撮影をし、強い絆が生まれた。東京電機大学は、今回で2度目の参加となった。様々な大学、先生との人と交流ができてとても有意義だった。来年は、慶応義塾大学での主催が決定した。



懇親会の様子



明治大学ランチフラッグ授与式

<IEEE Student Branch Leadership Training Workshopに参加して感じたこと>

今回が2度目の参加で、前回は参加した大学や初参加のメンバーとも親睦が深められた。是非、次回も参加し、様々な大学との親睦を深めたいと思う。学生企画の時は、プログラムを理解するのに苦労して、五目並べの置き方についての考えを伝えることしかできなかったが、お互いに意見を交換する中で自分に足りなかった考え方やプログラムの知識を学ぶことができた。今回は、東京電機大学から芝崎と松本で参加したが、来年は違うメンバーにも参加してもらいSB間の交流のすばらしさを知ってもらいたいと思う。

以上